

2021年11月19日

## ベトナム国産衛星が日本のロケットで宇宙へ

2021年11月9日朝、ベトナム科学技術研究所傘下のベトナム国家宇宙センター（VNSC）が開発したマイクロ衛星「ナノドラゴン」(NanoDragon)が内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられました。

ナノドラゴンは日本の宇宙航空研究開発機構(JAXA)に引き渡され、JAXAの「革新的衛星技術実証2号機プログラム」により打ち上げられました。この2号機は、衛星技術実証プログラムの2回目の実証機会と位置付けられています。これは、6つの実証テーマを搭載した「小型実証衛星2号機(RAISE-2)」およびベトナムの「ナノドラゴン」を含む複数の小型衛星システムの計9基の衛星で構成されています。10月1日は技術的な問題のため打ち上げが延期され、また10月7日には悪天候のために発射が再延期されていました。11月9日9時55分16秒(日本標準時)、JAXAは革新的衛星技術実証2号機を搭載したイプシロンロケット5号機を内之浦宇宙空間観測所から打ち上げましたが、ロケットは計画通り飛行し9基すべての正常な分離に成功しました。

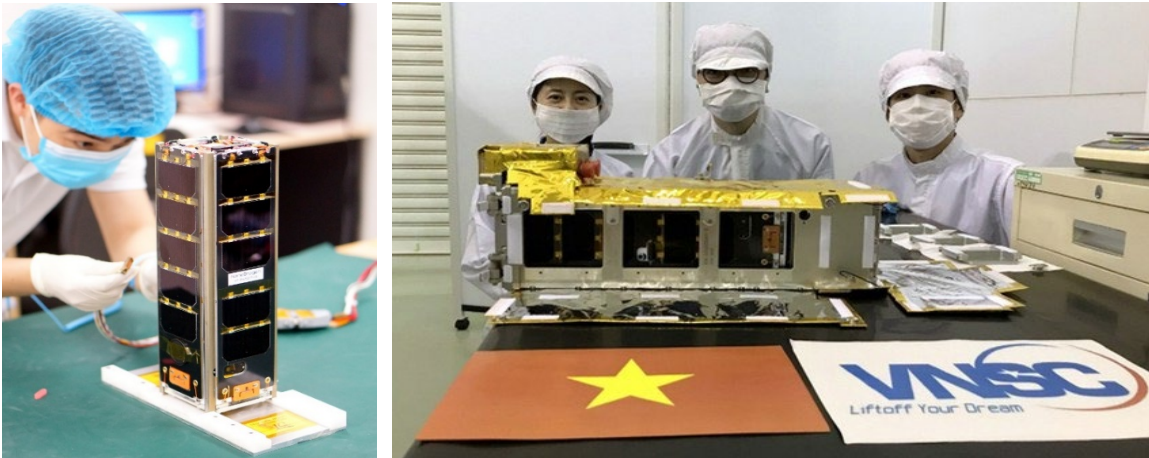


JAXAのイプシロン-5ロケットが発射台を離れる

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ベトナム製のナノドラゴン(ナノドラゴン)は重さ約 4kg、3U サイズ(約 13.3cm)のキューブサットと言われる小型衛星システムで、開発から設計、統合、機能テストまでベトナム国内で実施しました。ナノドラゴンは、船舶自動識別装置の信号を受信できることの証明を目的としています。また、衛星用に開発された新コンピューターと衛星の姿勢制御システムの品質を実証することも目的の一つです。この衛星は、「2030 年までの宇宙科学技術開発応用戦略」を実現するために、ベトナム国家宇宙センターの小型衛星開発プロセスの一環となっています。



ベトナム製のマイクロ衛星「ナノドラゴン」

この衛星は 2016 年から 2020 年にかけて国家宇宙技術プログラムの下、ナノスケール衛星計画に基づいて製造され、日本のすべての品質テストに合格しました。ナノドラゴンは 2021 年 3 月初旬に、九州工業大学で振動、衝撃、および熱真空試験を受け、品質管理試験に合格しました。

ベトナムは 2013 年に重量 1kg の超小型衛星「ピコドラゴン(PicoDragon)」の製造に成功し、同年 11 月から運用しています。そして、ベトナム国家宇宙センターが開発した重量 50kg の衛星「マイクロドラゴン(MicroDragon)」は 2019 年 1 月に軌道への打ち上げに成功しました。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

日越共同の宇宙事業について、2011年11月、ベトナム政府と日本政府はベトナム宇宙センタープロジェクトの ODA 融資契約に署名しました。そして、これまでハノイ人材育成・宇宙技術移転センター（2016年）、ニャチャン天文台（2017年）、ハノイ市 ベトナム宇宙センター（2018年）、ホーチミン市 航空宇宙アプリケーションセンター（2020年）が完成しています。各センターと天文台には、日本で衛星の設計・製造に携わる 50 人のベトナム人スタッフに加え日本の宇宙技術訓練を受けた 32 人のベトナム人スタッフが在籍しています。

今後、日越共同の宇宙開発事業がますます発展することが期待されています。

【写真提供：JAXA、VNSC】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上